

## 投資事業評価調書(新規)

部課室名	農地整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	農地整備課長 板井 丈夫 (盛 健二)	内線	4003 (4014)
------	-------	---------------------	---------------------------	----	----------------

事業種目	農業用排水路	事業名	事業区間	総事業費	約3億円
		県営土地改良総合整備事業 (省力化型)	小立垂水地区		

所在地	着工予定 年 度	完成予定 年 度
篠山市小立、垂水	H14年度	H17年度

事業の目的	事業内容
区画整理実施済みの当地区において、農作業における水管理の省力化を促進するため用水路のパイプライン化を行う。また併せて排水路の改修、幹線的農道の舗装を行うことで、さらなる農業経営の安定化を図る。	受益面積 28ha (用水路工 L=4.2km 2.1億円) (排水路工 L=1.3km 0.4億円) (農道工 L=0.5km 0.1億円) 負担割合 (国 50% 県 25% 市 12.5% 地元 12.5%)

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性	当地区は、篠山市における黒大豆、山ノ芋等の主要な産地であるが、ほ場整備完了後約30年が経過し、現在の農作業においては用排水路施設の老朽化に伴う水管理が多大な労働力の負担となっている。 このため受益者・市の強い要望を受け、早急に事業を実施し、用排水路の整備を行うことで水管理作業の省力化を図る。また、併せて地区の幹線的農道のアスファルト舗装を行うことで、農産物の高品質化(荷傷み防止)等付加価値を高め、農業経営の安定化(所得の増大)を図っていく必要がある。
(2)有効性・効率性	投資効率1.11、所得償還率16.1%であり事業としての効果が十分に期待できる。 同意率100%(63戸/63戸)
(3)環境適合性	道路路盤材等に再生砕石等を積極的に利用する。 一部の排水路で、既存水路のコンクリート製品を再利用し、生物の生息環境に配慮した整備を行う。
(4)優先性	

評価の結果	着手妥当	左の理由	上記内容により着手が妥当と認められた。
-------	------	------	---------------------